



学校だより

学校教育目標 いきいき久間っ子の育成

令和8年9月28日 NO.11

くま：工夫して学ぶ子

つ：強くてたくましい子

こ：心やさしい子

くまっ子



文責

校長 溝口 隆一郎

☆6年全国学力・学習状況調査、5年佐賀県学習状況調査の結果について☆

下記は、4月23日(木)に5・6年生が受けた全国と県の学習状況調査の結果です。

【6年】(平均正答率)

教科	全国	佐賀県	久間小	全国との比較
国語	60.9	56.0	62.0	全国平均正答率をやや上回る
算数	56.4	52.0	48.0	全国平均正答率を大きく下回る

【5年】(平均正答率)

教科	佐賀県	嬉野市	久間小	佐賀県との比較
国語	62.8	63.7	65.4	県平均正答率をやや上回る
算数	58.1	58.9	51.2	県平均正答率を大きく下回る

4月に行われた調査ですので、昨年度の結果となります。5年生も6年生も算数は、平均正答率を下回る結果でした。2年生から4年生の市の学力調査の算数も、市平均を下回っています。

そこで、夏季休業中に学力向上の研修を行い、この結果について全職員で分析しています。特に算数は、数値として表われていますので、改善していくのみです。学校全体の課題ととらえ、これからは基礎基本の定着と授業改善の両面から学力向上を図っていきます。また、国語科においては、佐賀県スーパーティーチャーを招聘し、授業づくりについての研修を行っています。

現在は、以下のことを全職員で共有し、実践しています。また、学習に向かう力は学校だけでは身に付きません。ご家庭でも、家庭学習習慣へのご協力をよろしくお願いいたします。

【全体：学ぶ土壌を固める】学習習慣・姿勢の定着

・学習環境の整備・・・毎月の筆箱チェック(学習に必要な道具の整備)

・学習の4つの基本の徹底

1. 始業時刻を守る
2. 休み時間に次の学習の準備(時間を大切にする意識付け)
3. 相手に体を向けて聞く
4. 最後まで話を聞く

・学力調査から見えた課題への対応

課題・・・「最後まで問題文を読む」、「あきらめず粘り強く考える」ことの不足

手立て・・・日頃の落ち着いた学習環境づくりを通して、粘り強く課題に向き合う力を育成する

【国語科：語彙力と表現力の育成】語彙力低下や思いを表現する力に重点を置いた手立て

・語彙力育成のアプローチ(火曜日朝)

「ことばのたからばこ(学年別語彙カード)」を作成・活用、カードのことばを使った短作文づくり

・読書タイムの活用(週1回)

低学年：読み聞かせ ・中学年：国語辞典の活用 ・高学年：新聞記事の視読

・思考ツールの活用(情報整理と表現の具体化)

自分の考えや集めた情報を視覚的に整理、論理的で豊かな表現につなげる

【算数科:基礎基本の定着と主体的な学び】小中を見据えた基礎基本と個別最適な学びの充実

・基礎問題の継続的な演習(水曜日朝)

「算数筋トレ」を設定(1回につき2~3問)、継続は力なりを実感させる

・児童主体の授業づくり

学習指導の標準的な流れを再確認し、児童が主体的に学べる授業を展開する

・少人数指導の導入と活用(教務対応)

本年度は5年生で実施中(きめ細かな指導)

・ICTの更なる活用(マイアセスシートやミライシードなど)

今後もデジタル教材を活用し、つまずきに応じた指導・学習を充実させる

☆創立150周年記念・市制20周年記念事業(航空写真撮影)☆

9月25日(金)、航空写真撮影を行いました。ドローンでの撮影で、時代は変わったな、と感じた次第です。嬉野市新庁舎の撮影も行われ、久間小と新庁舎の写真のクリアファイルが記念として作成されます。できあがりを楽しみます。記念式典は、11月8日(日)「嬉野市教育の日」に行います。現在のところの予定を示します。



8:25~ 9:10 授業参観

11:50~13:20 後片付け、昼食・昼休み

9:30~10:00 記念式典

(おにぎり弁当持参)

10:10~11:10 記念行事

13:30~15:00 全校親子ふれあい行事

11:30~11:50 バルーンリリース

~15:15 下校予定

☆青少年読書感想文 入賞おめでとう!☆ ~夏休みのがんばり~

地区特選(課題)	「まだまだここから、これから」	(3年)
地区入選(課題)	「とどけ!まほうのことば」	(1年)
地区佳作(課題)	「挑戦に必要なこと」	(4年)
地区佳作(自由)	「走れ!ヒットンを読んで」	(6年)

校長のひとりごと

写真は、1年生に「交通安全啓発グッズ」を渡しているときの様子です。嬉野市地域婦人連絡協議会からいただきました。秋の全国交通安全運動の期間であることや交通ルールはいつも守るように話をしました。真剣に話を聞いてくれる1年生が素晴らしかったです。子供たちが事故に遭うことなく、安全に過ごせるように我々大人もしっかりと注意していきましょう。



先日行われた、第2回学校運営協議会で「横断歩道を自転車に乗って横断する小学生がいる」という話がありました。「そもそも自転車に乗っているなら、車両扱いになる」という話で、もし車との事故になったら車両と車両になるということでした。ですから、登校する中学生のように、横断歩道は自転車を降りて横断することが必要ですね。学校でも家庭でも繰り返し指導していきましょう。